

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

○ 企業との連携により地域の森づくり・農業体験

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	たかおかしふくおかまちうわの 富山県高岡市福岡町上野			
協 定 面 積 7.4ha	田 (100 %) 水稻	畑	草地	採草放牧地
交 付 金 額 155 万円	個人配分			0 %
	共同取組活動 (100 %)	道・水路管理費		26 %
		農地管理費		46 %
		多面的機能増進活動費		10 %
		その他		18 %
協 定 参 加 者	農業者 33 人、非農業者 1 人			

2. 取組に至る経緯

上野集落は、高岡市南西部の小矢部市境に位置しています。年々、農業者の高齢化が進んでいたことから、農家人口減少や耕作放棄地の増加、里山の荒廃が懸念されていました。

そこで、今後の農業を継続するに当たり、農業技術や集落の伝統文化を集落全体で次の世代に継承していくこと、協働の意識を向上させることを目指し、集落協定を締結しました。また、県内企業 3 社と連携して、富山県主唱の「企業の森づくり」活動に取り組み、里山から農地までを一体として維持・保全に努めることになりました。

3. 取組の内容

集落総出による水路・道路の清掃や草刈り、農地法面の定期的な点検等を行うことで、地域の農業を守っています。

また、集落の活性化を図るには、都市住民等とのふれあい・交流が有効であるとの思いから、体験農園を整備し、上野集落の里山で「企業の森づくり」活動を行っている県内企業の社員や家族とともに、「さつまいも」の植え付けや収穫体験を行い、地域の森づくりから農業体験まで、幅広く連携した活動をしています。

さらに、地元の福岡小学校の授業の一環として、児童とともに「さつまいも」の植え付けや収穫体験を行い、子供たちの農業への理解を深める活動もしています。



集落総出の草刈り



さつまいも植付体験

[集落の将来像]

○ 元気で仲良く上野集落の田舎を守ろう！そして素敵な田舎に発展！！

- ・ 耕作放棄防止や水路、農道等の維持管理を集落全体で実施していけるよう自治会活動の中に取り込み運営していく。
- ・ 体験農園等の活動を通じて、素敵な田舎としてみんなで体感できる集落をめざす。

[将来像を実現するための活動目標]

○ 集落全体での農道・水路の管理や農業機械の共同利用の促進、体験農園の運営を通じた企業や小学生との交流を通じて、農地の保全と集落の活性化を図る。

[活 動 内 容]

農業生産活動等

農地の耕作・管理(田 7.4ha)

個別対応
共同取組活動

水路・作業道の管理

- ・ 水路 5.6 km、年 2 回
清掃、草刈り
- ・ 道路 1.6 km、年 2 回
草刈り

共同取組活動

農地法面の定期的な点検
(年 1 回以上)

共同取組活動

多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り
(約 0.6ha、年 1 回以上)

共同取組活動

体験農園の運営
(さつまいもの植付・収穫体験 0.4ha)

共同取組活動

農業生産活動の体制整備

機械農作業の共同化
(田の耕起及び代かきの共同化
を 1.6ha (22 %) 実施、目標 0.8ha)

共同取組活動

4 . 取組による変化と今後の課題等

集落の農業従事者の高齢化が進んでいるにもかかわらず、集落が結束して活動を行うことにより、地域の農業が守られています。また、里山整備から体験農園におけるさつまいもづくりまで、地元小学生や「企業の森づくり」活動を行っている県内企業の社員・家族との幅広く連携した交流活動により、地域への愛着が湧き、共同作業への参加者が増えてきています。

一方、農業従事者の減少が予想される中で、将来にわたって持続的な農業生産活動を行っていくためには、関係者がより一層団結し、協力していくことが必要となっています。

[平成 21 年度までの主な成果]

- 機械農作業の共同化の推進 田耕起、代かきの共同化 (当初 0ha、目標 0.8ha、H21 実績 1.6ha)
- 体験農園の運営

「企業の森づくり」活動を行っている県内企業 3 社の社員や家族を対象にしたさつまいもづくり体験
地元の小学生を対象にしたさつまいもづくりの体験実習 (H21 実績 0.4ha)